モバイルオートフィーダースキャナーA4

手軽に持ち運んで、ドコでも楽々自動スキャン可能!

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。こ の取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

※仕様は改善のため予告無く変更する場合があります。 詳しくは弊社サポートQ&Aのページをご覧下さい。 http://www.thanko.ip/support/ga.html

本体各部

- 1、miniUSB端子
- 2. 雷池カバー
- 3、 電源
- 4、microSDスロット

5、カラー・モノクロ/上へ 「カラー」と「モノクロ」を変更できます。

6、フォーマット カードをフォーマットできます。

- 7、決定
- 8、解像度/下へ 「600dpi」と「300dpi」を変更できます。
- 9、液晶モニタ
- 10、時間設定

付属品

本体、USBケーブル、単三乾電池×4本、専用ポーチ、CD-ROM クリーナークロス、キャリブレーションシート、写真用ジャケット、説明書 ※microSDカードは付属しておりません。 ※CD-ROM内のOCRソフトはサポート対象外となります。

8

26

9

10

商品仕様

●本体サイズ●重量	幅269×奥行き65×高さ41(mm) 約486g(乾電池含まず)	■1GBのmicroSDカードに スキャン可能な枚数目安。
●センサー●解像度	A4カラーコンタクトイメージセンサー Low:300 × 300 dpi High:600 × 600 dpi	カラー(600dpi) - 220枚 モノクロ(600dpi) - 290枚
●スキャン可能幅 ●スキャン可能高さ	∼21cm 300dpi:~127cm / 600dpi:~63cm	カラー(300dpi) - 780枚 モノクロ(300dpi) -1280枚
 ●バッテリー持続枚数 ●保存用カード ●保存形式 	約200枚 microSD(~32GB) JPEG	スキャン時間:各約6秒
●その他の機能	オートパワーオフ(3分間)	
●インラーフェイス ●バッテリー ●対応OS	USD Z.U 単三乾電池×4本 WindowsYP SP2以上 MacOS X1	

※「最大連続スキャン枚数」などは、使用環境により変動します。 ※内蔵メモリを搭載しておりません。上記「対応メモリ」該当のカードを別途ご用意ください。

●電池をセット

本体裏の「電池カバー(図2)」を外し 付属の単三乾電池×4本をセットし てください。



●電源ON / OFF

【電源ON】本体の「電源(図3)」を押し電源をONにすると液晶画面が表示されます。

【電源OFF】電源ONの状態で「電源(図3)」を押すことで電源がOFFになります。

●使用方法

①「microSDカードスロット(図4)」に microSDカードをセットします。

 ②本体の「電源(図3)」を押し電源を ONにします。

③スキャンしたい用紙を本体の給紙 ロにセットすると自動的に給紙され スキャンを行います。

④スキャン完了後、microSDカード 内に画像データが保存されます。

液晶部



- A、SDカード認識
- B、バッテリー残量
- C、カラー/モノクロ(図5で切り替え)
- D、枚数カウント(同じSDカードでスキャンした枚数)
- E. 解像度 (図8で切り替え) (High:600 dpi/Low:300 dpi)

●パソコンに接続する(スキャンした画像を読み込む)

本体の電源を入れた状態で「miniUSB端子(図1)」とパソコンを、付属のUSBケーブルで接続してください 。パソコンでカード内(「DCIM」内のフォルダ)のスキャンした画像を観覧することが可能になります。





※下面がスキャン面になります。



●クリーニング

電源ONの状態で給紙口にクリーニングシートをセットすることでスキャンが始まります。 約5~6秒間後に「電源(図3)」を押し電源OFF後にクリーニングシートを抜き取ります。





●ホワイトバランスのキャリブレーション

電源ONの状態で給紙口にキャリブレーションシ ートをセットすることで自動的にスキャンが始ま り、液晶モニタに「CAL」と表示されます。約25 秒間でシートが排紙され、キャリブレーションが 完了します。



●紙焼き写真などのスキャン

付属の写真用ジャケットを使用することで紙 焼きの写真などを綺麗にスキャンすることが 可能です。

	*
R	Œ ₽O
(CTIm	PHOTO

※両面の保護カバーを外して からご使用下さい。 操作ボタン説明 5、カラー・モノクロ/上へ 「カラー」と「モノクロ」を変更できます。 6、フォーマット 5 カードをフォーマットできます。 7、決定 26 8、解像度/下へ 「600dpi」と「300dpi」を変更できます。 8 9 10 9、液晶モニタ 10、時間設定

●microSDカードのフォーマット

microSDカードが入った状態で本体の「フォーマット(図6)」ボタンし「決定(図7)」を押すことでmicroSDカードをフォーマットすることが可能です。

●時間の設定

本体の「時間設定(図10)」ボタンを押すことで時間をセットすることが可能です。

